

# 2007 年(平成 19 年)感染症発生動向調査結果

## 一患者情報一

2007（平成19年）感染症発生動向調査事業 報告週対応表

1月							
週	月	火	水	木	金	土	日
1	1	2	3	4	5	6	7
2	8	9	10	11	12	13	14
3	15	16	17	18	19	20	21
4	22	23	24	25	26	27	28
5	29	30	31				

7月							
週	月	火	水	木	金	土	日
26							1
27	2	3	4	5	6	7	8
28	9	10	11	12	13	14	15
29	16	17	18	19	20	21	22
30	23	24	25	26	27	28	29
31	30	31					

2月							
週	月	火	水	木	金	土	日
5				1	2	3	4
6	5	6	7	8	9	10	11
7	12	13	14	15	16	17	18
8	19	20	21	22	23	24	25
9	26	27	28				

8月							
週	月	火	水	木	金	土	日
31			1	2	3	4	5
32	6	7	8	9	10	11	12
33	13	14	15	16	17	18	19
34	20	21	22	23	24	25	26
35	27	28	29	30	31		

3月							
週	月	火	水	木	金	土	日
9				1	2	3	4
10	5	6	7	8	9	10	11
11	12	13	14	15	16	17	18
12	19	20	21	22	23	24	25
13	26	27	28	29	30	31	

9月							
週	月	火	水	木	金	土	日
35						1	2
36	3	4	5	6	7	8	9
37	10	11	12	13	14	15	16
38	17	18	19	20	21	22	23
39	24	25	26	27	28	29	30

4月							
週	月	火	水	木	金	土	日
13							1
14	2	3	4	5	6	7	8
15	9	10	11	12	13	14	15
16	16	17	18	19	20	21	22
17	23	24	25	26	27	28	29
18	30						

10月							
週	月	火	水	木	金	土	日
40	1	2	3	4	5	6	7
41	8	9	10	11	12	13	14
42	15	16	17	18	19	20	21
43	22	23	24	25	26	27	28
44	29	30	31				

5月							
週	月	火	水	木	金	土	日
18		1	2	3	4	5	6
19	7	8	9	10	11	12	13
20	14	15	16	17	18	19	20
21	21	22	23	24	25	26	27
22	28	29	30	31			

11月							
週	月	火	水	木	金	土	日
44				1	2	3	4
45	5	6	7	8	9	10	11
46	12	13	14	15	16	17	18
47	19	20	21	22	23	24	25
48	26	27	28	29	30		

6月							
週	月	火	水	木	金	土	日
22					1	2	3
23	4	5	6	7	8	9	10
24	11	12	13	14	15	16	17
25	18	19	20	21	22	23	24
26	25	26	27	28	29	30	

12月							
週	月	火	水	木	金	土	日
48						1	2
49	3	4	5	6	7	8	9
50	10	11	12	13	14	15	16
51	17	18	19	20	21	22	23
52	24	25	26	27	28	29	30
	31						

「愛媛県感染症情報」発行日

## 2007年(平成19年)感染症発生動向調査結果 - 患者情報 -

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が、平成19年4月1日に一部改正され、対象疾患及び感染症類型が変更された。本報告書では、基本的に改正後の分類を用いて集計を行うこととし、県内の届出数については4月1日以前に届出された分も含めて、法改正後の分類で集計を行った。

## 1 全数把握対象 ー 五類感染症及び指定感染症

## (1) 一類感染症

一類感染症の届出はなかった。

## (2) 二類感染症

## 結核

結核は、平成19年4月1日から「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(感染症法)に基づく二類感染症に分類され、「結核予防法」は廃止となった。

結核は、4月から12月の間に、267人の届出があり、患者226人、無症状病原体保有者38人、感染症死亡者3人であった。性別は、男性133人、女性134人で、年齢区分は10歳未満1人、10歳代1人、20歳代39人、30歳代17人、40歳代12人、50歳代24人、60歳代39人、70歳代62人、80歳以上72人であった。

なお、結核の動向については、平成19年から稼働している『結核登録者情報システム』で集計された内容で、別章に掲載した(参照:本事業報告書 2007年(平成19年)結核登録者情報)。

## (3) 三類感染症

## 細菌性赤痢

細菌性赤痢は、3人の届出があった。性別は男性2人、女性1人で、年齢別では全て20歳代であった。感染地域は国外(エジプト)が2人、国内1人であった。国内で感染した事例は、国外で感染した患者との接触感染(二次感染)であった。患者から分離された菌型は全てソルネ菌であった。

届出日	届出週	性別	年齢別	菌型	症状	感染地域
3月 25日	12	男	20歳代	ソルネ	有	エジプト
5月 29日	22	女	20歳代	ソルネ	有	エジプト
6月 7日	23	男	20歳代	ソルネ	有	国内(細菌性赤痢患者の接触者)

## 腸管出血性大腸菌感染症

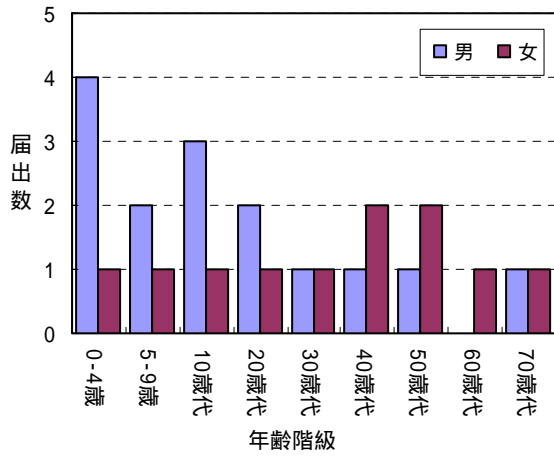
腸管出血性大腸菌感染症は 16 事例 26 人（患者 20 人、無症状病原体保有者 6 人）の届出があった。

性別は男性 15 人、女性 11 人、年齢別では 10 歳未満が 8 人、10 歳代 4 人、20 歳代 3 人、30 歳代 2 人、40 歳代 3 人、50 歳代 3 人、60 歳以上 3 人であった。推定感染経路は経口感染（原因食材不明）が 12 人、接触感染が 6 人、その他（不明）が 10 人であった（再掲あり）。感染地域は全て国内で、同一家庭内の発生は 5 事例であった。血清型（Vero 毒素）は O157 18 人（VT1・VT2 14 人、VT2 4 人）、O26 8 人（VT1）であった。

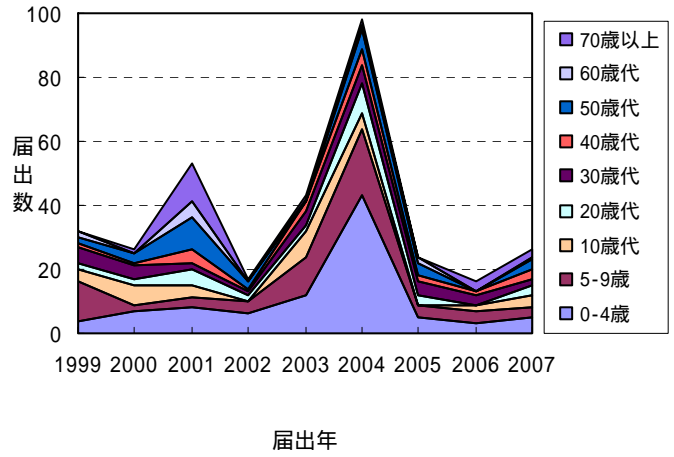
本疾患は通常食べ物を介して夏季に多発する傾向がある。2007 年は 7～8 月に 5 事例 9 人（O157 2 人、O26 7 人）の届出があったが、9 人のうち、食べ物による経口感染 2 人、家族間接触感染 5 人、その他（不明）2 人で、接触感染が 56%を占めた。

事例番号	届出月日	届出週	年齢別	性別	症状	発生地(患者住所地)	血清型	ベロ毒素
1	1月 15日	3	60歳代	女	有	今治市	O157	VT1・VT2
	1月 21日	3	40歳代	男	無	松山市		
	1月 21日	3	30歳代	女	有			
	1月 21日	3	小学生	男	有			
2	6月 4日	23	10歳代	男	有	宇和島市	O157	VT1・VT2
	6月 4日	23	10歳代	男	有			
	6月 7日	23	40歳代	女	有			
3	6月 20日	25	乳幼児	男	有	松山市	O26	VT1
4	7月 11日	28	小学生	男	有	今治市	O157	VT2
5	7月 13日	28	乳幼児	男	有	今治市	O26	VT1
	7月 16日	29	30歳代	男	無			
6	7月 13日	28	20歳代	男	有	松山市	O26	VT1
7	8月 1日	31	乳幼児	女	有	大洲市	O26	VT1
	8月 4日	31	乳幼児	男	無			
	8月 4日	31	乳幼児	男	無			
	8月 5日	31	20歳代	女	無			
8	8月 20日	34	50歳代	男	有	新居浜市	O157	VT1・VT2
9	9月 13日	37	小学生	女	有	西条市	O157	VT1・VT2
10	9月 13日	37	20歳代	男	有	四国中央市	O157	VT2
	9月 15日	37	40歳代	女	有			
11	10月 2日	40	70歳代	女	有	西予市	O157	VT1・VT2
12	10月 3日	40	50歳代	女	有	伊予市	O157	VT1・VT2
13	10月 6日	40	10歳代	女	有	今治市	O157	VT1・VT2
14	10月 22日	43	10歳代	男	有	今治市	O157	VT1・VT2
15	11月 13日	46	50歳代	女	無	愛南町	O157	VT2
16	11月 13日	46	70歳代	男	有	鬼北町	O157	VT1・VT2

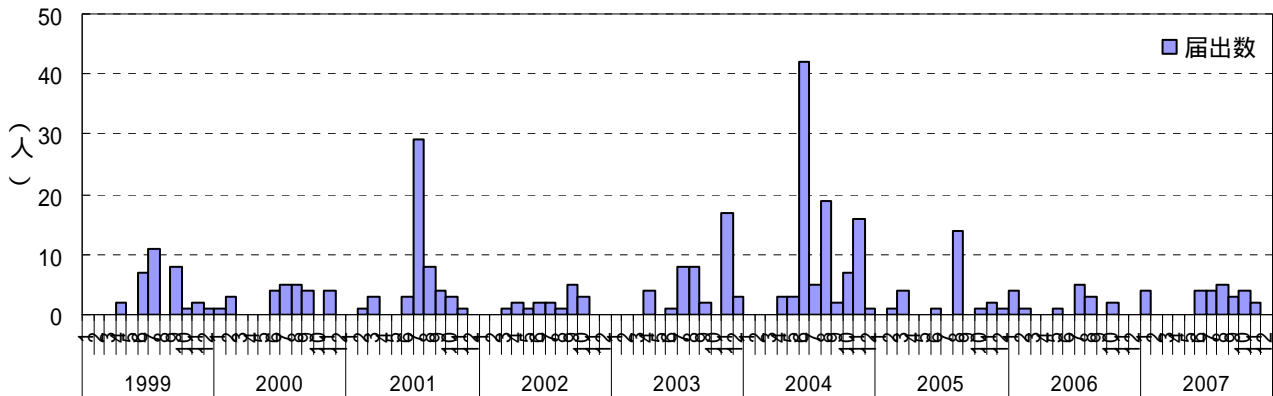
年齢階級・性別患者数(2007年)



年齢階級別患者数(年推移)



腸管出血性大腸菌感染症 届出数



## (4) 四類感染症

## A 型肝炎

A 型肝炎は 1 人の届出があった。50 歳代男性で、推定感染地域は国内であった。推定感染経路は経口感染で、原因食材は「かき」が推測されたが詳細は不明であった。

届出日	届出週	性別	年齢別	症状	推定感染地域	推定感染経路
2月 9日	6	男	50歳代	全身倦怠感、黄疸、肝機能異常	国内	経口感染

## オウム病

オウム病は 1 人の届出があった。60 歳代の男性で、推定感染地域は国内であった。野ハトとの接触があり、感染経路として推測された。

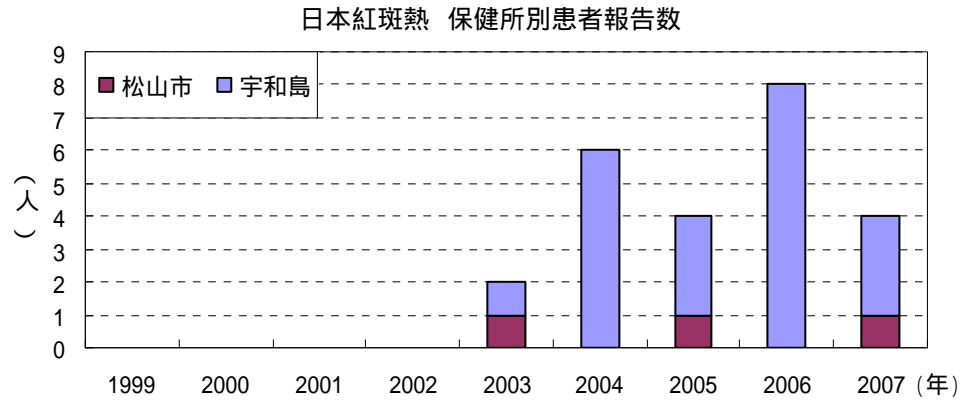
届出日	届出週	性別	年齢別	症状	推定感染地域	推定感染経路
7月 30日	31	男	60歳代	発熱、関節痛、咳、呼吸困難	国内	野ハトからの感染

## 日本紅斑熱

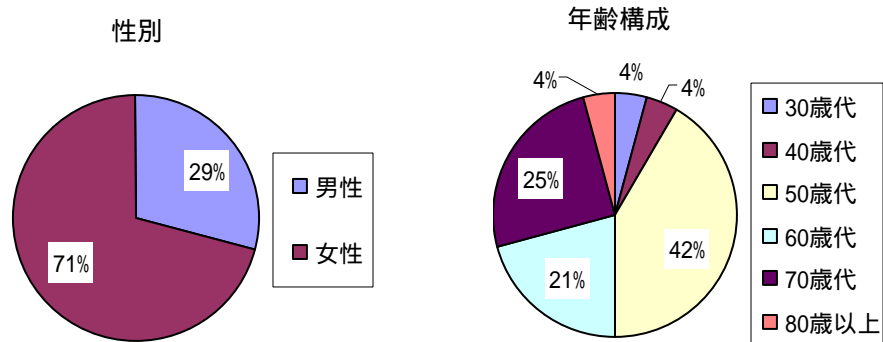
日本紅斑熱は 5～11 月に 4 人の届出があった。性別は男性 2 人、女性 2 人で、年齢は 40 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳代各 1 人で、届出保健所は松山市保健所管内 1 人、宇和島保健所管内 3 人であった。感染地域は全て国内で、感染経路はダニ（マダニ）による感染であった。

本疾患は 2003 年 8 月に県内で初めて患者が中予で届出されて以降、2003 年 2 人、2004 年 6 人、2005 年 4 人、2006 年 8 人と毎年報告されている。患者の性別は女性の方が多く、年齢は 50 歳以上の壮高年者が 92%を占めている。また、2007 年までに届出があった患者（24 人）のうち 21 人（87.5%）が宇和島保健所管内からの報告であり、今後の動向に注意が必要である。

届出日	届出週	性別	年齢	症状	届出保健所	確定感染地域	感染経路
5月 28日	22	女	70歳代	発熱、刺し口、発疹、DIC 肝機能異常、意識障害 多発ラクナ梗塞	宇和島	国内(宇和島)	マダニ
7月 25日	30	男	40歳代	発熱、刺し口、発疹 肝機能異常	宇和島	国内	マダニ
9月 26日	39	女	60歳代	発熱、発疹、 肝機能異常	松山市	国内(松山)	動物・蚊・ 昆虫等からの感染
11月 9日	45	男	50歳代	発熱、刺し口、発疹 肝機能異常	宇和島	国内(宇和島)	マダニ



2003年以降届出された日本紅斑熱患者(24人)の内訳



## レジオネラ症

レジオネラ症は7人の届出があった。病型は全て肺炎型で、性別は男性6人、女性1人で、年齢は40歳代1人、50歳代5人、60歳代1人であった。推定感染地域は国内6人、国外(中華人民共和国)1人であった。推定感染経路はいずれも不明であった。

届出日	届出週	病型	性別	年齢別	症状	推定感染地域	推定感染経路
6月 11日	24	肺炎型	男	50歳代	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎	国内	不明
7月 18日	29	肺炎型	男	50歳代	発熱、咳嗽、呼吸困難 肺炎、肝機能障害	国内	不明
7月 20日	29	肺炎型	男	50歳代	発熱、肺炎	国内	不明
9月 6日	36	肺炎型	男	50歳代	発熱、咳嗽、下痢、肺炎	国内	不明
9月 10日	37	肺炎型	男	60歳代	発熱、肺炎	中華人民共和国	不明
9月 19日	38	肺炎型	男	40歳代	発熱、意識障害、肺炎 多臓器不全	国内	不明
11月 30日	48	肺炎型	女	50歳代	発熱、肺炎、頭痛	国内	不明

## (5) 五類感染症

## アメーバ赤痢

アメーバ赤痢は5人の届出があり、病型は腸管アメーバ症4人、腸管外アメーバ症1人であった。性別は、男性3人、女性2人で、年齢は30歳代2人、40歳代1人、60歳代1人、70歳代1人であった。推定感染地域は国内4人、国外(中華人民共和国)1人であった。感染経路については全て不明であった。

届出日	届出週	性別	年齢別	症状	推定感染地域	推定感染経路
2月 9日	6	女	30歳代	肝膿瘍	国内	不明
6月 27日	26	男	40歳代	腹痛	国内	不明
10月 3日	40	男	70歳代	下痢、粘血便、腹痛	中華人民共和国	不明
10月 29日	44	女	60歳代	便秘	国内	不明
12月 3日	49	男	30歳代	下痢、しぶり腹、鼓腸	国内	不明

## ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)

ウイルス性肝炎は2人の届出があり、病型は全てB型であった。性別はともに男性で、年齢は20歳代1人、50歳代1人であった。感染地域はともに国内で、感染経路は不明であった。

届出日	届出週	病型	性別	年齢別	症状	感染地域	感染経路
1月 6日	1	B型	男	20歳代	発熱、肝機能異常、黄疸 食欲不振、嘔気	国内	不明
3月 29日	13	B型	男	50歳代	全身倦怠感、褐色尿 肝機能異常、黄疸	国内	不明

## 急性脳炎

急性脳炎は1人の届出があった。4歳以下の乳幼児で、性別は女児、病原体はRSウイルスであった。感染経路は国内で、感染経路は飛沫・飛沫核感染であった。発症時期は愛媛県内でRSウイルス感染症が急増した時期と一致している。

届出日	届出週	病型	性別	年齢別	確定感染地域	推定感染経路
1月 31日	5	病原体(RSウイルス)	女	乳幼児	国内	飛沫・飛沫核感染



## クロイツフェルト・ヤコブ病

クロイツフェルト・ヤコブ病は 6 人の届出があった。性別は男性 1 人、女性 5 人で、年齢別では 60 歳代 1 人、70 歳代 2 人、80 歳代 3 人であった。病型は孤発性 5 人、家族性 1 人で、診断の確実度はほぼ確実例が 5 人、疑い例が 1 人であった。本疾患は 1999 年以降、0~3 人/年の届出であったが、本年は 6 人とほぼ倍増した。

届出日	届出週	病型 (診断の確実度)	性別	年齢別	感染地域	推定感染経路
1月 26日	4	孤発性 (疑い)	男	60歳代	国内	不明
2月 22日	8	孤発性 (ほぼ確実)	女	80歳代	国内	不明
5月 24日	21	孤発性 (ほぼ確実)	女	70歳代	国内	不明
6月 5日	23	孤発性 (ほぼ確実)	女	70歳代	国内	不明
6月 26日	26	孤発性 (ほぼ確実)	女	80歳代	国内	不明
10月 2日	40	家族性 (ほぼ確実)	女	80歳代	国内	不明

## 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は 1 人の届出があった。性別は男性で、年齢は 60 歳代であった。病原体は A 群で、感染地域は国内、推定感染経路は擦過傷からの感染であった。

届出日	届出週	病原体	性別	年齢別	症状	確定感染地域	推定感染経路
8月 10日	32	A群	男	60歳代	ショック、腎不全 軟部組織炎	国内	擦過傷からの感染

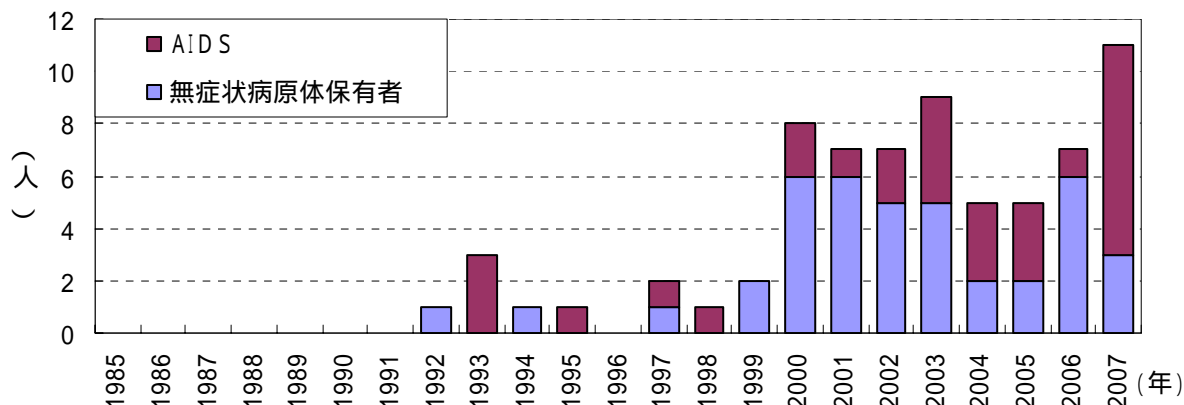
## 後天性免疫不全症候群

後天性免疫不全症候群は 11 人の届出があり、1999 年 4 月以降、最も多かった。無症状病原体保有者 3 人、AIDS 8 人で、届出時点で既に AIDS を発症している割合が 72.7%と高かった。性別は男性 10 人 (無症状病原体保有者 3 人、AIDS 7 人)、女性 1 人 (AIDS) であり、年齢別では 30 歳代 5 人 (無症状病原体保有者 2 人、AIDS 3 人)、40 歳代 1 人 (無症状病原体保有者)、50 歳代 5 人 (AIDS) であった。推定感染地域は国内 10 人、国外 1 人で、推定感染経路は性的接触 9 人 (異性間 8 人、同性間 1 人)、不明 2 人と、例年と比べ、異性間性的接触が多かった。

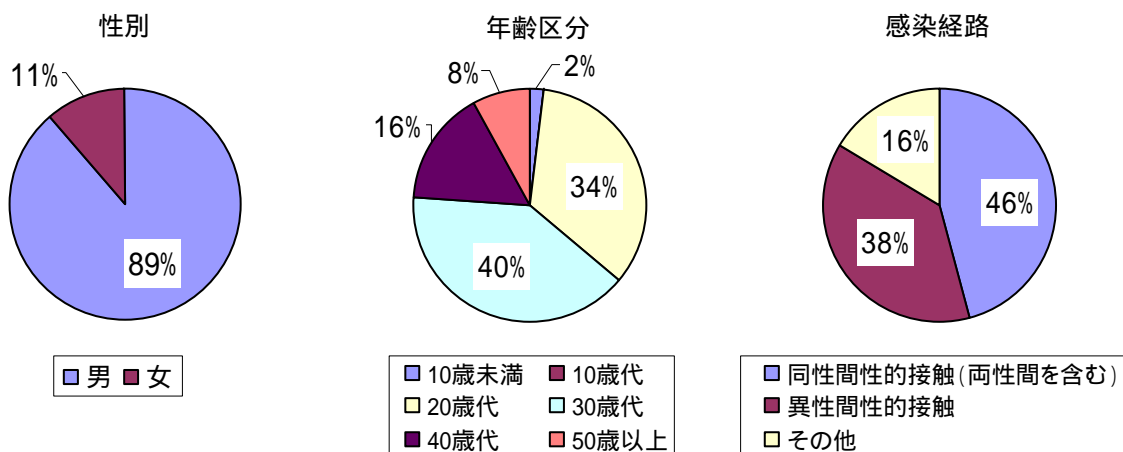
県内の無症状病原体保有者及び AIDS 患者数の年次推移をみると、1992 年に初めて届出されてから 1999 年までは毎年 1~2 人程度で推移していた。2000 年以降は年間 5~8 人と届出数のやや多い状態が続いていたが、2007 年は 11 人と最も多くなった。1999 年 4 月 1 日以降、感染症法に基づいて届出された 61 人のうち、性別では男性が全体の 89%を、年齢区分別では 20~30 歳代で 74%占め、感染経路別では同性間性的接触 (両性間を含む) が 46%を占めており、全国的な傾向と同様、県内においても 20~30 歳代の男性の同性間性的接触が主要な感染経路となっている。また、全国では異性間性的接触による感染が経年的に増加傾向にあり、愛媛県内においても近年 3~4 割を占めていたが、2007 年では届出のあった 11 人中 8 人 (73%) が異性間性的接触による感染であり、今後の動向に注意が必要である。

届出日	届出週	病型	性別	年齢別	感染地域	感染経路
4月 23日	17	AIDS	男	50歳代	国内	異性間性的接触
6月 26日	26	無症状病原体保有者	男	30歳代	国内	同性間性的接触
6月 25日	26	AIDS	男	50歳代	国内	異性間性的接触
6月 27日	26	無症状病原体保有者	男	40歳代	国内	異性間性的接触
8月 29日	35	AIDS	女	50歳代	国内	不明
9月 5日	36	AIDS	男	30歳代	国外	異性間性的接触
9月 6日	36	AIDS	男	30歳代	国内	異性間性的接触
10月 10日	41	AIDS	男	50歳代	国内	不明
10月 23日	43	AIDS	男	30歳代	国内	異性間性的接触
11月 9日	45	AIDS	男	50歳代	国内	異性間性的接触
12月 11日	50	無症状病原体保有者	男	30歳代	国内	異性間性的接触

愛媛県におけるHIV感染者およびAIDS患者の年次推移



1999年4月以降 感染症法に基づいて届出された患者(61人)の内訳



## 梅毒

梅毒は6人の届出があり、無症候梅毒3人、早期顕症梅毒(期)1人、早期顕症梅毒(期)2人であった。性別は男性4人、女性2人で、年齢別は20歳代1人、30歳代1人、50歳代1人、60歳代2人、80歳代1人であった。推定感染地域はいずれも国内で、推定感染経路は性的接触4人(異性間3人、同性間1人)、不明2人であった。

届出日	届出週	病型	性別	年齢別	推定感染地域	推定感染経路
4月 6日	14	無症候梅毒	女	60歳代	国内	異性間性的接触
5月 2日	18	無症候梅毒	男	30歳代	国内	同性間性的接触
6月 25日	26	早期顕症 期	男	50歳代	国内	異性間性的接触
7月 5日	27	無症候梅毒	男	80歳代	国内	不明
7月 13日	28	早期顕症 期	女	20歳代	国内	異性間性的接触
9月 14日	37	早期顕症 期	男	60歳代	国内	不明

## (6) 指定感染症

指定感染症の届出はなかった。

表 2-1-1 全数把握対象疾患発生状況(年推移)

感染症 類型	疾病名	年	愛媛県					全国						
			2007	2006	2005	2004	2003	2002	2007	2006	2005	2004	2003	2002
一類	エボラ出血熱													
	クリミア・コンゴ出血熱													
	痘そう*													
	南米出血熱**													
	ペスト													
	マールブルグ病													
二類	ラッサ熱													
	急性灰白髄炎													
	結核**		267											
	ジフテリア													
三類	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)*													
	コレラ				1									
	細菌性赤痢		3	6		3	3	6						
	腸管出血性大腸菌感染症		26	16	24	98	43	17						
	腸チフス			2										
	パラチフス													
四類	E型肝炎					2	1							
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
	A型肝炎		1	4		2	18	7						
	エキノкокクス症													
	黄熱													
	オウム病		1		1	1								
	オムスク出血熱**													
	回帰熱													
	キャサヌル森林病**													
	Q熱													
	狂犬病													
	コクシジオイデス症													
	サル痘*													
	腎症候性出血熱													
	西部ウマ脳炎**													
	ダニ媒介脳炎**													
	炭疽													
	つつが虫病			2										
	デング熱													
	東部ウマ脳炎**													
	鳥インフルエンザ*													
	ニバウイルス感染症*													
	日本紅斑熱		4	8	4	6	2							
	日本脳炎													
	ハンタウイルス肺症候群													
	Bウイルス病													
	鼻疽**													
	ブルセラ症													
	ベネズエラウマ脳炎**													
	ヘンドラウイルス感染症**													
	発疹チフス													
	ボツリヌス症													
マラリア				2	1	2	3							
野兎病*														
ライム病														
リッサウイルス感染症*														
リフトバレー熱**														
類鼻疽**														
レジオネラ症		7	2											
レプトスピラ症*					1									
ロッキー山紅斑熱**														
五類	アメーバ赤痢		5	5	4	3	3							
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)		2	4	3	8	6	2						
	急性脳炎*		1	1		2								
	クリプトスポリジウム症			1										
	クロイツフェルト・ヤコブ病		6	3	3	2	2							
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1					3						
	後天性免疫不全症候群		11	7	5	5	9	7						
	ジアルジア症						1	1						
	髄膜炎菌性髄膜炎													
	先天性風しん症候群													
	梅毒		6	4	3	9	4	7						
	破傷風			2	4	2	2	4						
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症*													
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症													
指定	インフルエンザ(H5N1)													
	計		341	67	54	145	97	58						

注1:(\*)の疾患については2003年11月5日から、(\*\*)の疾患は2007年4月1日からの数値である。

注2:全国の2007年の報告数は概数である。

注3:全国のE型肝炎及びA型肝炎の報告数については、2003年11月5日以前は(急性)ウイルス性肝炎として報告された数値である。

注4:2007年4月1日からの法改正に伴い、疾患の追加及び並び順を変更している。

注5:急性脳炎は ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

表 2-1-2 2007年全数把握対象疾患発生状況(月別)

平成19年1月1日～平成19年12月31日

感染症類型	疾病名	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
一類	エボラ出血熱													
	クリミア・コンゴ出血熱													
	痘そう													
	南米出血熱*													
	ペスト													
	マールブルグ病													
二類	ラッサ熱													
	急性灰白髄炎													
	結核*	267	—	—	—	20	37	30	29	26	32	31	44	18
三類	ジフテリア													
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)													
	コレラ													
	細菌性赤痢	3			1		1	1						
四類	腸管出血性大腸菌感染症	26	4					4	4	5	3	4	2	
	腸チフス													
	パラチフス													
	E型肝炎													
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
	A型肝炎	1		1										
	エキノコックス症													
	黄熱													
	オウム病	1							1					
	オムスク出血熱*		—	—	—									
	回帰熱													
	キャサスル森林病*		—	—	—									
	Q熱													
	狂犬病													
	コクシジオイデス症													
	サル痘													
	腎症候性出血熱													
	西部ウマ脳炎*		—	—	—									
	ダニ媒介脳炎*		—	—	—									
	炭疽													
	つつが虫病													
	デング熱													
	東部ウマ脳炎*		—	—	—									
	鳥インフルエンザ													
	ニパウイルス感染症													
	日本紅斑熱	4						1		1		1		1
	日本脳炎													
	ハンタウイルス肺症候群													
	Bウイルス病													
	鼻疽*		—	—	—									
	ブルセラ症													
	ベネズエラウマ脳炎*		—	—	—									
	ヘンドラウイルス感染症*		—	—	—									
	発疹チフス													
ボツリヌス症														
マラリア														
野兎病														
ライム病														
リッサウイルス感染症														
リフトバレー熱*		—	—	—										
類鼻疽*		—	—	—										
レジオネラ症	7							1	2		3		1	
レプトスピラ症														
ロッキー山紅斑熱*		—	—	—										
五類	ア메ーバ赤痢	5		1				1				2		1
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	2	1		1									
	急性脳炎	1	1											
	クリプトスポリジウム症													
	クロイツフェルト・ヤコブ病	6	1	1			1	2				1		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1									1			
	後天性免疫不全症候群	11				1		3		1	2	2	1	1
	ジアルジア症													
	髄膜炎菌性髄膜炎													
	先天性風しん症候群													
	梅毒	6					1	1	1	2		1		
	破傷風													
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
バンコマイシン耐性腸球菌感染症														
指定	インフルエンザ(H5N1)													
	計	341	7	3	2	22	41	43	39	33	42	40	49	20

注1:(\*)の疾患は2007年4月1日からの数値である。

注2:2007年4月1日からの法改正に伴い、疾患の追加及び並び順を変更している。

注3:急性脳炎は ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

表 2-1-3 2007年全数把握対象疾患発生状況(保健所別)

平成19年1月1日～平成19年12月31日

感染症類型	疾病名	計	四国中央	西条	今治	松山市	松山	八幡浜	宇和島
一類	エボラ出血熱								
	クリミア・コンゴ出血熱								
	痘そう								
	南米出血熱*								
	ペスト								
	マールブルグ病								
二類	ラッサ熱								
	急性灰白髄炎								
	結核*	267	8	26	15	123	26	44	25
	ジフテリア								
三類	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)								
	コレラ								
	細菌性赤痢	3		2		1			
	腸管出血性大腸菌感染症	26	2	2	6	5	1	5	5
	腸チフス								
四類	バラチフス								
	E型肝炎								
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)								
	A型肝炎	1			1				
	エキノコックス症								
	黄熱								
	オウム病	1				1			
	オムスク出血熱*								
	回帰熱								
	キヤサズル森林病*								
	Q熱								
	狂犬病								
	コクシジオイデス症								
	サル痘								
	腎症候性出血熱								
	西部ウマ脳炎*								
	ダニ媒介脳炎*								
	炭疽								
	つつが虫病								
	デング熱								
	東部ウマ脳炎*								
	鳥インフルエンザ								
	ニパウイルス感染症								
	日本紅斑熱	4					1		3
	日本脳炎								
	ハンタウイルス肺症候群								
	Bウイルス病								
	鼻疽*								
	ブルセラ症								
	ベネズエラウマ脳炎*								
	ヘンドラウイルス感染症*								
	発疹チフス								
	ポツリヌス症								
	マラリア								
	野兔病								
	ライム病								
	リッサウイルス感染症								
	リフトバレー熱*								
	類鼻疽*								
	レジオネラ症	7			3		1	1	2
レプトスピラ症									
ロッキー山紅斑熱*									
五類	アメーバ赤痢	5				5			
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	2		1	1				
	急性脳炎	1							1
	クリプトスポリジウム症								
	クロイツフェルト・ヤコブ病	6				5		1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1		
	後天性免疫不全症候群	11		1		5	5		
	ジアルジア症								
	髄膜炎菌性髄膜炎								
	先天性風しん症候群								
	梅毒	6		1		1	2	1	1
	破傷風								
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症								
バンコマイシン耐性腸球菌感染症									
指定	インフルエンザ(H5N1)								
	計	341	10	36	23	148	36	53	35

注1:(\*)の疾患は2007年4月1日からの数値である。

注2:2007年4月1日からの法改正に伴い、疾患の追加及び並び順を変更している。

注3:急性脳炎は ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

表 2-1-4 2007年全数把握対象疾患発生状況(年齢別)

平成19年1月1日～平成19年12月31日

感染症類型	月	計	0	1	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	
			歳	4	9	14	19	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	歳以上	
疾病名																			
一類	エボラ出血熱																		
	クリミア・コンゴ出血熱																		
	痘そう																		
	南米出血熱*																		
	ペスト																		
	マールブルグ病																		
二類	ラッサ熱																		
	急性灰白髄炎																		
	結核*	267	1		1			18	21	8	9	4	8	10	14	17	22	134	
	ジフテリア																		
三類	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)																		
	コレラ																		
	細菌性赤痢	3						1	2										
	腸管出血性大腸菌感染症	26	1	4	3	2	2	2	1	1	1	2	1		3		1	2	
	腸チフス																		
	パラチフス																		
	E型肝炎																		
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)																		
	A型肝炎	1													1				
四類	エキノкокクス症																		
	黄熱																		
	オウム病	1																	1
	オムスク出血熱*																		
	回帰熱																		
	キャサヌル森林病*																		
	Q熱																		
	狂犬病																		
	コクシジオイデス症																		
	サル痘																		
	腎症候性出血熱																		
	西部ウマ脳炎*																		
	ダニ媒介脳炎*																		
	炭疽																		
	つつが虫病																		
	デング熱																		
	東部ウマ脳炎*																		
	鳥インフルエンザ																		
	ニパウイルス感染症																		
	日本紅斑熱	4												1		1		1	1
	日本脳炎																		
	ハンタウイルス肺炎候群																		
	Bウイルス病																		
	鼻疽*																		
	ブルセラ症																		
	ベネズエラウマ脳炎*																		
	ヘンドライウイルス感染症*																		
発疹チフス																			
ボツリヌス症																			
マラリア																			
野兔病																			
ライム病																			
リッサウイルス感染症																			
リフトバレー熱*																			
類鼻疽*																			
レジオネラ症	7												1	2	3	1			
レプトスピラ症																			
ロッキー山紅斑熱*																			
五類	アムール赤痢	5								1	1		1					1	1
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	2						1											
	急性脳炎	1	1																
	クリプトスポリジウム症																		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	6																	5
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1																	1
	後天性免疫不全症候群	11									3	2	1		3	2			
	ジアルジア症																		
	髄膜炎菌性髄膜炎																		
	先天性風しん症候群																		
	梅毒	6							1			1				1	1	1	1
	破傷風																		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症																		
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症																		
指定	インフルエンザ(H5N1)																		
	計	341	1	6	3	3	2	23	24	13	14	7	12	16	25	21	27	144	

注1:(\*)の疾患は2007年4月1日からの数値である。  
 注2:2007年4月1日からの法改正に伴い、疾患の追加及び並び順を変更している。  
 注3:急性脳炎はウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。